

成熟が早く、倒伏に強い 黒大豆新品種「兵系黒7号」の育成

【背景・目的・成果】 近年の気象変動等の影響により、県北部地域で栽培される黒大豆「クロツル（コウノトリ大豆）」生産地では収穫期（成熟期）の遅延、倒伏、裂皮の発生による収量の低下が課題となっていました。そこで、当センターが保有する黒大豆在来系統（55系統）から、「クロツル」よりも成熟期が早く、倒伏に強く、裂皮が少ない有望系統を選抜・育成し、令和6年11月に「兵系黒7号」として、品種登録出願しました。

育成の系譜



「兵系黒7号」の外観と特徴（「クロツル」との比較）

兵系黒7号



クロツル



表「兵系黒7号」の品種特性※ (兵庫県立農林水産技術総合センター R3～5年度現地試験結果)

品種	成熟期 (月・日)	主茎長 (cm)	倒伏	裂皮	正品収量 (kg/10a)	百粒重 (g)
兵系黒7号	11.06	61	0.3	0.5	229	48.5
クロツル	11.13	80	3.5	1.8	199	43.0

※倒伏：観察により0（無）～5（甚）の6段階で評価

裂皮：観察により0（無）～5（甚）の6段階で評価、正品収量：子実重の内、裂皮等を除き、実需に出荷できる収量

- ・成熟期がやや早い
- ・主茎長が短く、倒伏に強く、コンバイン収穫適性が高い
- ・裂皮が少なく、正品収量がやや多い
- ・百粒重はやや大きい

【技術の活用】 関係機関と連携のもと、県北部地域での普及を進めます。なお、参考特性として、既存品種よりも病害に対して圃場抵抗性を有するため、「コウノトリ育む農法」に対応した有機栽培の推進、化学合成農薬の低減にも繋がり、ひょうご農林水産ビジョン2030の「農林水産物のブランド力強化と生産者所得の向上」に貢献できます。



兵庫県
Hyogo Prefecture

兵庫県立農林水産技術総合センター
農業技術センター

25-02

研究成果紹介
動画サイト

